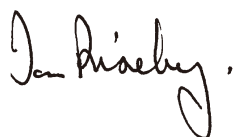


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏




『桜の大木』 写真提供：鈴木敏之 会員

4月は母子の健康月間

2017～2018年度(第60期 小原年度)

4月第1例会プログラム

4月5日(第2934回)

VOL. **34**

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- クラブソング
- ビジター紹介
- 会長挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 誕生祝・入会記念祝
- 卓話「相続税のポイント」
- にこにこBOX
- 出席報告
- クラブフォーラム
- 点 鐘
- クラブソング

会 長

ともに歩もう
親睦活動委員会

ミリオン・ダラー・ミール
親睦活動委員会
鶴田一郎 会員

S.A.A
出席委員会

会 長
ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

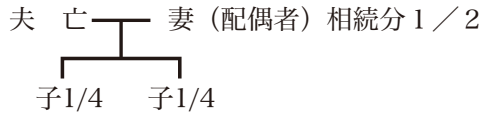
卓話「相続関係の民法改正～近時の報道から～」

鈴木 實 会員

具体例 どのようなことが変わる予定か ～居住権の創設～

【現行】

相続



夫名義の 不動産 預貯金等 財産

不動産評価が高額な場合で妻がそのまま住み続けるため、不動産の所有権を取得した場合、預貯金等他の財産を相続できないケースが生じる。

【新設 居住権】

居住権を創設し、配偶者が相続開始時に居住している被相続人所有の建物に住み続けることができる権利を創設し、遺産相続の選択肢の一つとして取得できるようにする



※ 今まで存在しない新しい権利

～預金～

【現行】

亡くなったら

預金凍結

相続人全員の印鑑登録証明書付の解約

遺産分割協議書

調停調書

審判書

がなければ預金を解約できない。

【改正 新設 仮払い制度】

各共同相続人は、遺産に属する預貯金債権のうち、その相続開始の時の債権額の3分の1に当該共同相続人の法定相続分を乗じた額（ただし、預貯金債権の債務者ごとに法務省令で定める額を限度とする。）については、単独でその権利を行使することができる。この場合において、当該権利の行使をした預貯金債権については、当該共同相続人が遺産の一部の分割によりこれを取得したものとみなすとするもの



～遺言制度～

【現行】

自筆遺言

全て本人が手書きをしなければならない

財産が沢山あって、財産目録の作成が大変な場合 ※誤ると効力に疑義が生じる

自筆遺言 保管制度なし。

自宅に保管したり、誰かに預けるのが一般的

【改正 新設】

自筆遺言

パソコンなどでも自筆証書遺言の財産目録を作成できる。

法務局に保管を申請することができる



～遺留分制度 相続の効力 相続人以外の貢献～

○遺留分制度

・現行は法的性質に争いがあると同時に、遺産の種類によって効力が異なる場所、法的性質を金銭請求できるものとするのと同時に、算定方法を見直すもの

○相続の効力

・遺言などで法定相続分を超えて相続した不動産は、登記をしなければ第三者に権利を主張できないとするもの

○相続人以外の貢献の考慮

・相続人以外の被相続人の親族（相続人の妻など）が被相続人の介護をしていた場合、一定の要件を満たせば相続人に金銭請求できるとするもの

2018-2019年度ロータリー第2820地区 会長エレクト研修セミナーの概要

沼田 義雄 会長エレクト

去る3月24、25日の両日、水戸プラザホテルで開催された2018-2019年度国際ロータリー 2820地区会長エレクト研修セミナーに出席いたしました。本セミナーは、次年度地区リーダーとしての役割と責務を明確にし、RIのテーマに沿った地区の方向性を確認するうえで重要です。今回はガバナーエレクト（RI第2820地区ガバナーエレクト高橋賢吾氏）が主催する初めてのセミナーでした。以下、内容を要約してお知らせします。

■次年度のRI会長はラシン氏

次年度のRI会長は、バハマ出身のバリー・ラシン氏です。2018-2019年度のRIテーマは“BE THE INSPIRATION”（インスピレーションになろう）です。ラシン会長は、ロータリアンは「感化を与える人」「意欲を引き出す人」になろう、そしてロータリアンは「地域社会と世界に向けて、手を取り合って接続的な変化を生み出しましょう」と訴えています。

■次年度の2820地区スローガン

ラシン会長の抱負を受けて、高橋賢吾ガバナーエレクトは第2820地区の次年度スローガンを“ロータリーの心と力を地域社会へ”と決めました。そして、当地区ロータリアンの奉仕に対する篤い心と変化を生み出す力で、活力ある魅力的な地域社会を創造すること、また時代の変化に対応した魅力あるクラブ造りとクラブの活性化を図るために、2820地区ロータリアンが一緒に考え、行動しようと呼びかけています。

■次年度の2820地区目標（抜粋）

1. クラブのサポートと強化
会員増強は、会員30名以上のクラブでは2名以上の純増。女性会員及び40歳未満の会員増強。ロータリーに入会するローターアクトの増員。
2. 人道的奉仕の重点化と増加
インターアクト、ローターアクトがロータリークラブや地域社会と一緒に奉仕プログラムに参加。ポリオプラス、年次基金の増加。
3. 公共イメージと認知度の向上
地域社会に発信する“ロータリーデー”の各クラブでの開催。「ポリオキャンペーン」や「世界を変える行動人キャンペーン」の推進。
4. 青少年への支援と学友連携の強化
5. ロータリー財団と米山奨学会への支援
ロータリー財団 1人150ドル以上（年次寄付130ドル、ポリオ20ドル） ベネファクター各クラブ1名以上
米山奨学会 1人25,000円以上（普通寄付5,000円、年次寄付20,000円）

2018-19年度テーマが発表になりました



2018-2019年度 国際ロータリーテーマ
インスピレーションになろう

2018-19年度国際ロータリー会長 バリー・ラシン



2018-2019年度 2820地区スローガン
「ロータリーの心と力を地域社会へ」

2018-19年度 2820地区ガバナー 高橋 賢吾



お知らせ

*第61期 第1回事前クラブ協議会

日 時：平成30年4月19日(木) 11:30～ 場 所：ローブ

*第61期 家庭集会

- ・会員組織、会計
日 時：平成30年5月15日(火) 18:30～ 場 所：かね喜 本店
- ・クラブ管理運営、SAA
日 時：平成30年5月16日(水) 18:30～ 場 所：ローブ
- ・奉仕プロジェクト、ロータリー財団、米山記念奨学
日 時：平成30年5月17日(木) 18:30～ 場 所：霞月楼



米山奨学会よりカウンセラー感謝状授与